



インスピレーションになるう

30th Anniversary Shintoshin Weekly

〒160-0023 新宿区西新宿2-7-2 ハイアットリージェンシー東京11階

TEL : 03-3340-3555 FAX : 03-3340-3554 E-mail : shintoshin-rc@par.odn.ne.jp

HP : <http://www.tokyo-shintoshin-rc.org>

会長 半場慎一

幹事 引地正修

創立 : 1988年9月21日

「国際ロータリーの現況と松坂ガバナーの地区運営」

国際ロータリー 第2580地区中央分区ガバナー補佐 八木 敏廣 氏

あなたのクラブの将来は？

今年度中央分区ガバナー補佐を拝命致しました八木敏廣です。所属は東京新宿RCです。年度初めの大変お忙しい中、わざわざ卓話の時間を戴きましたのは皆様方会員各位に松坂ガバナーのお考えを分かり易くご説明する事が私の役割と判断した為です。昨年秋より毎月ガバナー補佐研修が開催され、他地区のPastガバナーや元RI理事より国際ロータリーの現況をお聞きする機会が度々有りました。私はロータリー歴だけは20年程度になりますが、自クラブ以外の事にはほとんど疎い方で聞く事、聞く事がビックリする事ばかりでした。暫くは頭の整理が出来ず悶々とした日々が続きましたが、そうした中で第2650地区(京都・奈良・滋賀・福井)の刀根莊兵衛PGのお話を伺う機会が有り、スッキリと理解する事が出来た次第です。



本日はその刀根PGのとらえる国際ロータリー(RI)の話から始めさせて戴きます。

まず、現在のRIの目指すものは一言でいうと何か？

それは「世界有数の慈善団体になる事」です。

それでは、世界有数の慈善団体になる為にはどうしたら良いか？

それは、以下の3点です。

- 第一に マンパワー……会員増強⇒ 柔軟性・ダイナミックイメージ向上
 - 第二に 資金 ……ロータリー財団⇒恒久基金20億ドル(現在は10億ドル)
 - 第三に 活動の分野……人道的活動、ポリオ撲滅、6つの重点分野
- この目標を達成する為には、ロータリーの規定の変更を行う事が必要です。

そこで、

2016年規定審議会の特徴は

- 1)クラブ運営に柔軟性と自主性を与える
- 2)標準RC定款に例外規定を設ける…今まで定款に例外規定なし
 - 第7条 例会と出席に関する規定の例外
 - 第9条 会員身分に関する規定の例外
- 3)これらすべてRI理事会提案……クラブからの提案ではない

その後のRI理事会決定……2019年7月より有効

地区委員会に関して、職業奉仕委員会と青少年奉仕委員会を社会奉仕委員会に統合する。

地区クラブ奉仕委員会を廃止する。

2019年規定審議会の想定案件は？

- 1)クラブの構成を改訂する件……職業分類をなくす
- 2)ローターアクトクラブをRIの会員に認める件……人頭分担金の徴収
- 3)グローバル会員モデル試験的プロジェクト……クラブに所属しない会員制度

以上が刀根PGのとらえるRIですが、この流れに私は合点がいった次第です。

RIはノーベル平和賞でも狙っているのでしょうか？

2面に続く

第1393回例会 7月11日(水)

「国際ロータリーの現況と松坂ガバナーの地区運営」

国際ロータリー 第2580地区

中央分区ガバナー補佐 八木 敏廣 氏(東京新宿RC)

次回のプログラム

第1394回例会 7月18日(水)

「ガバナー公式訪問」

2018-2019年度 国際ロータリー

第2580地区ガバナー 松坂 順一 氏(東京葛飾東RC)

処で、1974-75年度のRI会長を務めたウィリアム・ロビンス会長は次の様に言っています。

「ロータリークラブの価値……」

ロータリークラブの真価は、いかほどの金銭を集めたか、いかほどの計画を実践したかではなく、そのクラブが如何なるロータリアンの人づくりをしたか、という事に尽きる。

金品を社会に寄贈して奉仕するのは、ロータリーの本義ではない。奉仕する人を育成して社会に寄贈するのがロータリーである。」

こうした理念の基にロータリー活動を経験して来た古参の会員諸氏からすれば信じられない変化かも知れません。然しながら、ポールP・ハリスはこのように言っています。

「世界は常に変化している。ロータリーは、この世界と共に変化して成長していかなければならない。ロータリーの物語は幾度も書きかえられなければならない。」

従って原点回帰を目指す為には、これからの超長期ヴィジョンとしてロータリー110余年の歴史の中で何度か書きかえられた定款及び細則等をルールに従って、これから又書きかえて行けば良い訳です。

しかし、これには相当長期に亘る時間が必要になります。

RIはRIとして、私達はこれから起こるかも知れない変化にただ流されるのではなく、個々のクラブ自身がきちんとした理想や夢を持って、変化に対応し、変化をリードする気構えが必要であると思います。

第2580地区も同じです。

日本国内34地区の中でガラパゴスの様に言われ孤立している当地区に風穴を開けようとしているのが松坂Gです。松坂Gは会員数22名の葛飾東RCに所属しています。私たち中央分区に在籍している者にはピンと来ませんが、東分区15クラブの内1/3強の6クラブが会員数30名未満です。

30名未満に会員が減少した場合あなたの所属するクラブは存続出来るでしょうか？

更に、当地区70クラブの内、実に19クラブ(1/3弱)が30名未満の会員数です。

人一倍の危機意識を松坂Gは感じていると思います。

・如何にしてクラブを活性化させ会員増強を図るか？

・如何にしてRIに流されずにクラブや地区の活性化を図るか？

ガバナー一人では限りも有るので、ガバナー補佐を増員し自らの手足として働いて貰う体制づくりを今回行ったと推察致します。

その為に、既に2002年にRI理事会で義務化されていた地区リーダーシッププラン(DLP)が当地区では形式的にしか採用されていませんでしたので、これを本格的に運用する事にしました訳です。

又、上山PG、吉田PG、松坂Gと三代続いた研修もその狙いは変化に流されることなくきちんとした理想や夢を持ったロータリアンを育てる事が目的で、RLI準備委員会もその一環として位置づけられると思います。

最後になりますが、ロータリーはクラブが主役です。どんなクラブを創るかは、クラブの未来は会員一人ひとりの熱い想いの中に有ります。

地区は脇役でしか有りません。

今年度松坂Gは「クラブの未来を考える委員会」の設置を提言しています。

それぞれのクラブで形は異なるかと思いますがご検討戴きたいと思います。

幸いなことに、本年6月に行いました次年度会長クラブ面談の際には、新宿5クラブでは会長ノミニーデジグネード制を4クラブが採用する事が決定しています。会長エレクト、ノミニー、デジグネードの3人が毎年真剣にクラブの将来を語り合ってくればクラブの活性化の道は必ずや開かれると思います。

今年度も貴クラブ会長の基、更に実りある一年になりますよう祈念しておりますと共に微力ながら私もお手伝いさせて戴く所存です。

本日はご清聴ありがとうございました。

以上

追加:

①IM準備資料として、「新宿5クラブ共同社会貢献プロジェクトについてのアンケート調査表」の8月末回収にご協力をお願い致します。

会報委員会

委員長 内川晃一(7月・5月)／副委員長 青山信之(9月・2月)

委員 ヴァッタヴァバン(6月)・青木隆政(8月)・平岡直記(10月)・石川佳照(11月)

黒田康之(12月)・深山雅也(1月)・佐々木郁夫(3月)・和田佳久(4月)